



第 374 回 つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題：免疫の司令塔、樹状細胞の源となる細胞の同定

演者：樗木 俊聡（おおてき としあき）先生

東京医科歯科大学 難治疾患研究所生体防御学分野 教授

JST CREST

日時：2013 年 7 月 12 日（金） 17:00-18:30

会場：イノベーション棟 1 階 105 号室

要旨：

樹状細胞（dendritic cell, DC）は 1973 年にラルフ・スタインマン博士らにより発見され、博士がその功績により一昨年ノーベル医学生理学賞を受賞したのは記憶に新しい。DC は、従来型 DC と形質細胞様 DC に大別され、どちらの DC も免疫応答の調節に重要であるが、とりわけ形質細胞様 DC はウイルス感染やある種の自己免疫病で大量の I 型インターフェロンを産生することを特徴とする。すべての血液細胞は造血幹細胞を源とし、DC も例外ではないが、特に DC のみに分化の方向性が運命決定された DC 前駆細胞の同定は、同細胞分化系譜の観点とトランスレーショナル興味を同時に包含する研究といえる。我々の研究グループは、これまでにスイスの研究グループとの共同研究において、上記条件を満たす共通 DC 前駆細胞（Common DC precursor, CDP）を同定し報告した。しかしながら CDP から分化する DC は大多数が cDC で pDC は少数であったため、pDC への分化能に優れた DC 前駆細胞の存在が予測され、その同定が待望されていた。本セミナーでは、新たに同定した卓越した pDC 分化能をもつ DC 前駆細胞について紹介したい。

参考文献

1. Onai, et al., *Immunity* 38, 943-957 (2013)
2. Shortman K, and Sathe P. *Immunity* 38, 845-846 (2013)
3. Onai et al., *Nat Immunol* 8, 1207-1216 (2007)

本セミナーは、人間総合科学研究科「医学セミナー」の単位に換算されます。

また TSMM セミナーは、医科学セミナー II に関連したセミナー（世話人：久武 幸司）でもあります。

連絡先：筑波大学医学医療系 高橋 智（内線 7516、satoruta@md.tsukuba.ac.jp）

【筑波分子医学協会（TSMM）主催】 HP <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

TSMM セミナー担当 筑波大学医学医療系 船越 祐司